

5年—Unit 3 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業

1. 単元目標

- ・教科について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別し、読むことができる。(知識及び技能)
- ・学校生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、時間割について伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- Do you have (P.E.) on (Monday)? Yes, I do. / No, I don't. What do you have on (Monday)? I study (math). I want to be (a teacher). I want to study (math).
- 教科 (Japanese, English, math, social studies, home economics, calligraphy, moral education, P.E.), cleaning time, recess, 職業 (baseball player, doctor, fire fighter, florist, police officer, vet), study, goat
[既出] 曜日, 教科 (music, arts and crafts, science), teacher, soccer

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

4. 単元計画 (7時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆曜日や教科について尋ねたり答えたりできる。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て、世界の学校について分かったことを誌面に記入する。 ・聞き取れた言葉や、分かったことを発表する。 <p>○何曜日かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室にある時間割を見て、何曜日にどんな教科があるかを確認する。 <p>【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday p.20</p> <p>○ミッシング・ゲーム (教科名)</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? オプション (Subjects) p.22</p> <p>【Let's Listen】 p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、それがどの曜日かを考えて記入する。 <p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Alphabet Jingle (バージョン1) を聞く。 ・アルファベット順に、それぞれの文字で始まる単語やその音に注意しながら全員で分かる部分だけ言う。 	<p>※本時の目標に向けて指導は行うが、評価の記録は次時に合わせて行う。</p>
2	<p>◆学校生活に関するまとまりのある話を聞いて、おおよその内容を捉えるとともに、教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk : 好きな教科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしな 	

	<p>がら聞く。</p> <p>【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday p.20</p> <p>○ビンゴ・ゲーム</p> <p>【Let's Play】 p.20</p> <p>・ペアで取り組む。1人が、1週間の時間割の中から好きな曜日を1つ決め、相手が Do you have ~ on ~? と尋ね、どの時間割を選んだかを考えて答える。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <p>・世界の子供たちがどのような科目を学習しているかを知り、自分たちの学習との相違点や共通点に気付く。</p> <p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76)</p> <p>・Alphabet Jingle を言う。黒板に掲示した小文字のアルファベット文字カード（その初頭音で始まる絵が描かれている）をみんなで順番に言う。</p>	<p>◎教科や曜日について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎世界の同世代の子供たちの学校生活に関するまとまりのある話を聞いて、自分たちとの相違点や共通点を聞き取り、誌面に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk : 持っている物</p> <p>・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p> <p>【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday p.20</p> <p>・映像を見ながら歌う。</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.21</p> <p>・映像を見て、世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか、分かったことを誌面に記入する。</p> <p>【Let's Play】 p.20</p> <p>・ペアで取り組む。1人が、1週間の時間割の中から好きな曜日を1つ決め、相手が What do you have? と尋ね、どの時間割を選んだかを考えて答える。</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76)</p> <p>・黒板に掲示したアルファベット小文字を見て、ジングルのリズムに合わせて言う。</p> <p>・クラスを半分に分け、最初半分が a/ei/ と言った後、あとの半分は /æ/, /æ/apple とキーワードを言う。</p>	<p>◎教科や曜日について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆学校生活についてまとまった話を聞いてそのおおよその内容を捉えたり、教科について尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.21</p> <p>・映像を見て、世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか、わかったことを誌面に記入する。</p> <p>【Activity 1】 p.22</p> <p>・指導者の夢の時間割を聞き、誌面表に記入する。</p> <p>・友だちと夢の時間割を紹介し合う。</p> <p>・先生の夢の時間割を参考に、夢の時間割を作成し、紹介し合う。</p> <p>○サークル・ジングル</p>	<p>◎学校生活に関するまとまった話を聞いておおよその内容を捉えている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎教科について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
5	◆時間割やそれについての自分の考えなどの話を聞いてそのおおよその内容を捉える。	

	<p>◆活字体の小文字を識別し、読むことができる。</p> <p>○Small Talk : 家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>○Go fish Game</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで Go fish Game を行う。 <p>【Let's Watch and Think 3】 p.23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を視聴し、登場人物と将来の夢、オリジナル時間割を線で結ぶ。 <p>【Activity 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある職業に就くための時間割を考え、オリジナル時間割も含めて完成させる。 <p>○ペアを探せ！ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに大文字と小文字をマッチさせる。 	<p>◎時間割やそれについての自分の考えなどの話を聞いてそのおおよその内容を捉え、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆時間割について伝え合う。</p> <p>◆活字体の小文字を識別し、読むことができる。</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う <p>○anz ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～5人グループで活動する。 <p>【Activity 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したオリジナル時間割を班の人に紹介する。 ・次時のクイズ練習をかねて、班の中でペアを替えながら何度か行う。 	<p>◎活字体の小文字を識別し、読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎時間割について尋ねたり答えたりして、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合おうとする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>【Activity 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したオリジナル時間割をクイズ形式で紹介する。 ・オリジナル教科についても紹介する。 <p>○I spy ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、1人がアルファベットの名称を言い、もう1人が Alphabet Jingle チャートあるいは、児童用カード（大文字・小文字）にあるその文字をさし示す。 <p>【STORY TIME】 p.25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞く。 	<p>◎他者に配慮しながら、教科について尋ねたり答えたりして、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

5年 Unit 3-Lesson 1 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 1/7 時間

目 標 曜日や教科について尋ねたり答えたりできる。

準 備 教師用カード (教科, 曜日), 児童用テキスト, デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。	
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <p>・映像を見て, 世界の学校について分かったことを誌面に記入する。</p> <p>・聞き取れた言葉や, 分かったことを発表する。</p>	<p>・児童と一緒に聞き取れたことについて確認し, 世界の同世代の学校生活は日本と似たところも違うところもあることを確認する。映像を視聴しながら, ジェスチャーを交えるなど, 児童が内容を推測しやすいようにする。</p> <p>・日本でも学校によって特色があるように, このデジタル教材に出てくる学校は, その国のたった1つの学校のみであり, その国のすべての学校がそうではないことに留意させる。</p> <p>・次時にも視聴するため全てを見せる必要はない。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>ロシア : There are many schools around the world. In Russia, some children learn Japanese at school. They have a long vacation from June to August. School starts in September.</p> <p>エジプト: Let's take a look at Egypt. There are many children in each class. Sometimes, over 90 children study together in one classroom.</p> <p>アメリカ: In America, many children go to school by school bus. School starts in September. Japanese <i>manga</i> and animations are very popular.</p> <p>ベルギー: Let's look at a school in Belgium. Children study five days a week. On Wednesday, they only have classes in the morning.</p> <p>ラオス : Here is a school in Laos. They go home for lunch and come back to school at one thirty for three more classes in the afternoon. They learn a traditional dance at school.</p>		
14分	<p>○何曜日かな。</p> <p>・教室の時間割を見て, 何曜日どんな教科があるかを確認する。</p> <p>【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday p.20</p>	<p>・時間割を見て, 児童が日本語で言う曜日や教科の教師用カードを掲示しながら, 英語での言い方を知らせる。指導者の後に続いて一緒に言うように促す。</p> <p>・カードをさし示し, 児童の様子を見てスピードを調整しながら, Sunday, Monday, Tuesday の歌を歌って聞かせる。言えそうなところから一緒に言うよう促す。デジタル教材で歌を聞かせてもよい。</p>	教師用カード (教科, 曜日) デジタル教材
	<p>Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday comes again.</p> <p>Sunday (エコープラクティス) Monday (エコープラクティス) Tuesday (エコープラクティス) Wednesday (エコープラクティス) Thursday (エコープラクティス) Friday (エコープラクティス) Saturday (エコープラクティス) I like Friday. I like Friday. I like Friday the best! (clap)</p>		
	・指導者の質問に答える。	・曜日, 教科について児童とやり取りをしながら, 児童に曜日や教科名を何度も聞かせ慣れ親しませる。	
	<p>T : Today is Monday. We have math, Japanese, science, music, social studies and P.E. Do you like math? S1, do you like math?</p> <p>S1: Yes, I do.</p> <p>T : You like math. Good. How about S2? Do you like math?</p> <p>S2: No, I don't.</p> <p>T : Oh, no. You don't like math. How about Japanese?</p> <p>S2: I like Japanese.</p> <p>T : Good. Everyone, do you like Japanese?</p>		

3分	<p>○ミッシング・ゲーム (教科名) ・全員で行う。</p> <p>ミッシング・ゲームの進め方 黒板に教科カードを掲示しながら、言い方を確認する。全てのカードを外し、その中から1枚カードを除く。除いたカード以外を再度黒板に貼りながら、リピートさせる。最後に黒板にないカードを言わせる。隠す数は1枚から始め4枚程度 (実態に応じて) まで。児童に目を閉じさせてカードを抜き、なくなったカードを考えて言わせる方法もある。</p>	<p>・黒板に掲示している教科カードでそのまま行う。</p>	<p>教師用カード (教科)</p>
3分	<p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? オプション (Subjects) p.22 ・言えるところから言う。</p>	<p>・児童とリズムに乗って一緒に言う。</p> <p>P.E., Japanese, math and English. Social studies, music and science. Arts and crafts, calligraphy, home economics, moral education and more. Don't forget (clap) lunch time!</p>	<p>デジタル教材</p>
5分	<p>【Let's Listen】 p.20 ・音声を聞いて、それがどの曜日かを考えて記入する。</p>	<p>・ある程度まとまりのある文を聞いて、大まかに聞きとれる力を児童に付けたい。そのため、1度目は音声を途中で区切らず、終わりまで流し、聞き取れた内容で判断するよう促す。その後、児童の様子から聞き取りにくい曜日のものなどは数回音声を流し、途中で区切るなど聞かせ方を工夫する。</p> <p>No.1: I have P.E., science, math and social studies. I like P.E. very much. No.2: I have Japanese, science, math, social studies and P.E. No.3: I have English, math, home economics and Japanese. I like English, too. No.4: I have Japanese, calligraphy, music, math and moral education. Calligraphy is interesting. No.5: I have math, English, science, arts and crafts, and Japanese. I like this day. I like arts and crafts very much.</p> <p>・答え合わせの際には単に曜日を確認するだけでなく、一緒に教科名や曜日を言うようにし、言い方に慣れさせる。また、単に答え合わせに終わらないよう、ある教科が好きかどうかを児童に尋ねてやり取りをする。</p> <p>T : Do you like music? S1: Yes, I do. S2: No, I don't. T : S2, what subject do you like? Social studies? P.E?</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (教科)</p>
5分	<p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76) ・Alphabet Jingle (バージョン1) を聞く。 ・アルファベット順に、それぞれの文字で始まる単語やその音に注意しながら全員で分かる部分だけ言う。</p>	<p>・まず、児童が知っているアルファベット文字の読み方を尋ねる。今から、Alphabet Jingle を聞くことを告げ、どのようなものが聞こえたかを聞き取るよう促す。 ・音に注意しながら分かる部分だけでよいので一緒に言うように促す。</p> <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet Jingle」</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

※本時の目標に向けて指導は行うが、評価の記録は次時に合わせて行う。

5年 Unit 3-Lesson 2 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 2/7 時間

目 標 学校生活に関するまとまりのある話を聞いて、おおよその内容を捉えるとともに、教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。

準 備 教師用カード(教科, 曜日, 小文字のアルファベットカード), 児童用テキスト, 児童用カード(教科, 曜日), デジタル教材, ワークシート (Unit 3-1:教科ビンゴシート), 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする ○Small Talk: 好きな教科 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 好きな教科について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	
	<p>Small Talk の例</p> <p>T: What day is it today?</p> <p>S: Wednesday!</p> <p>T: That's right. It's Wednesday today. What do you have on Wednesday? (教室の時間割をさしながら)</p> <p>S: Japanese, calligraphy, music</p> <p>T: Yes. Let's say together. We have (一緒に言う) Japanese, calligraphy, music, math and moral education. What subject do you like? ○○ <i>san</i>.</p> <p>S: I like Japanese and music. S2: I like calligraphy. S3: I like math and music.</p> <p>T: Many students like music. Me too. I like music very much. I like songs. (音楽を聴くジェスチャーをしながら) I like listening to the music. (鼻歌を歌ってから) I like singing. I can be happy and relax. I like music.</p>		
3分	<p>[Let's Sing] Sunday, Monday, Tuesday p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> 曜日の歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒に歌う。児童の様子を見て、アカペラでリズムをゆっくりにするなど歌い方を工夫する。 	デジタル教材 教師用カード (曜日)
	<p>Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday comes again.</p> <p>Sunday (エコープラクティス) Monday (エコープラクティス)</p> <p>Tuesday (エコープラクティス) Wednesday (エコープラクティス)</p> <p>Thursday (エコープラクティス) Friday (エコープラクティス)</p> <p>Saturday (エコープラクティス)</p> <p>I like Friday. I like Friday. I like Friday the best! (clap)</p>		
8分	<p>○ビンゴ・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自で、児童用カード(曜日, 教科) 14枚を切り離し、そのうちの9枚を選んで、ビンゴシートに並べる。 指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 曜日, 教科のカードから、ビンゴシートに9枚を並べるように言う。 Do you have ~? で尋ね、そのカードがシートにあれば、Yes, I do. と行ってそのカードを裏向ける。なければ No, I don't. と答えるよう言う。縦横斜めにカードが裏返ればビンゴ。 慣れてきたら、代表児童に尋ねさせる。Do you have ~? の表現を何度も聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらい。 	ワークシート (Unit 3-1:教科 ビンゴシート) 児童用カード (曜日, 教科)

10分	<p>【Let's Play】 p.20</p> <p>・ペアで取り組む。1人が、1週間の時間割の中から好きな曜日を1つ決め、相手が Do you have ~ on ~? と尋ね、どの時間割を選んだかを考えて答える。</p>	<p>・まず、指導者と代表児童、指導者と全児童でデモンストラーションをして進め方を理解させる。</p> <p>・代表児童に好きな曜日を心の中で決めさせる。その曜日を予想し、時間割を見てその曜日にある科目を、Do you have ~? と尋ねる。</p> <p>・指導者が好きな曜日を心の中で決める。児童に質問をさせる。</p> <p>・単に曜日を答えるだけでなく、Do you have ~? I have ~ on ~. の表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらいである。</p>	児童用テキスト 教師用カード (曜日, 教科)
<p>S1: (火曜日を選ぶ)</p> <p>S2: (S1は英語が好きなので、選んだ曜日を金曜日と予想し、金曜日の特徴である英語や家庭科があるかどうかを尋ねる。) Do you have English and home economics?</p> <p>S1: No, I don't. I don't have home economics.</p> <p>S2: (S1が選んだ曜日を火曜日と予想し、火曜日の特徴である英語や図画工作があるかどうかを尋ねる。) Do you have English and arts and crafts?</p> <p>S1: Yes, I do. I have English and arts and crafts.</p> <p>S2: (Is it) Tuesday?</p> <p>S1: That's right. It's Tuesday. I have math, English, science, Japanese and arts and crafts on Tuesday.</p> <p>役割を交代して続ける。</p>			
		<p>◎教科や曜日について尋ねたり答えたりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <p>・世界の子供たちがどのような科目を学習しているかを知り、自分たちの学習との相違点や共通点に気付く。</p>	<p>・1時目に視聴できなかったものから視聴する。</p> <p>◎世界の同世代の子供たちの学校生活に関するまとまりのある話を聞いて、自分たちとの相違点や共通点を聞き取り、誌面に記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ロシア : There are many schools around the world. In Russia, some children learn Japanese at school. They have a long vacation from June to August. School starts in September.</p> <p>エジプト: Let's take a look at Egypt. There are many children in each class. Sometimes, over 90 children study together in one classroom.</p> <p>アメリカ: In America, many children go to school by school bus. School starts in September. Japanese <i>manga</i> and animations are very popular.</p> <p>ベルギー: Let's look at a school in Belgium. Children study five days a week. On Wednesday, they only have classes in the morning.</p> <p>ラオス : Here is a school in Laos. They go home for lunch and come back to school at one thirty for three more classes in the afternoon. They learn a traditional dance at school.</p>			
5分	<p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76)</p> <p>・Alphabet Jingleを言う。黒板に掲示した小文字のアルファベット文字カード(その初頭音で始まる絵が描かれている)をみんなで順番に言う。</p>	<p>・Alphabet Jingleを聞かせ、小文字のアルファベットカード(その初頭音で始まる絵が描かれている)を示しながら、みんなで順番に言うように促す。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「ジングル」 → 「Alphabet Jingle」</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (小文字のアルファベットカード)
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 3—Lesson 3 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 3/7 時間

目 標 教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。

準 備 持ち物やその写真 (Small Talk 用), 教師用カード (教科, 曜日, 小文字のアルファベットカード), 児童用テキスト, 児童用カード (教科, 曜日), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 持っている物</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 指導者が趣味で持っている物について話す。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	持ち物やその写真
<p>Small Talk の例 ※ここでは, 腕時計を複数持っていてそれを紹介している場面</p> <p>T : Look. This is my bag. (自分のカバンを見せながら) Oh, it's heavy. (自分のカバンを持って重そうに) Please touch this. (自分のカバンを児童に差し出しながら) What's inside it? What do I have in my bag? A book? Pens? What do I have in my bag? Can you guess? Please touch this. (別の児童に自分のカバンを差し出しながら)</p> <p>S1: Pencils?</p> <p>T : Pencils? Good idea. But not pencils, I'm sorry. Listen. (カバンを少し振って見せながら) What do I have in my bag?</p> <p>S2: A watch?</p> <p>T : A watch? Watches? Great! That's right. Look, a watch. (腕時計を1つ取り出しながら) Look, a watch. (もう1つ腕時計を取り出しながら) Look, a watch. (また1つ腕時計を取り出しながら) Oh, one more watch. (また1つ腕時計を取り出しながら) Wow, one more watch. (また1つ腕時計を取り出しながら) Umm, one more watch. (また1つ腕時計を取り出しながら) How many... how many watches?</p>			
2分	<p>[Let's Sing] Sunday, Monday, Tuesday p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像を見ながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒に歌う。 	デジタル教材
<p>Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday comes again. Sunday (エコープラクティス) Monday (エコープラクティス) Tuesday (エコープラクティス) Wednesday (エコープラクティス) Thursday (エコープラクティス) Friday (エコープラクティス) Saturday (エコープラクティス) I like Friday. I like Friday. I like Friday the best! (clap)</p>			
15分	<p>[Let's Watch and Think 2] p.21</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像を見て, 世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか, 分かったことを誌面に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 4つの内2つを選んで視聴する。視聴前に児童に予想させるなどし, 早く確認したいという気持ちにさせてから視聴するとよい。 1度目は一時停止せず, まとめて視聴し, ある程度まとまりのある話から, その内容の概要を捉えられるように視聴の方法を工夫する。 今回は, 1度聞かせた後, 聞き取れた単語を発表させ, 2回目にその後をヒントにさらに内容を理解させるなど, 児童の実態や不安感をもつ児童に考慮しながら行うとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ケニア : I'm in Kenya. I have math, English and Swahili on Monday in my school. We have eight classes from Monday to Friday and five classes on Saturday. We have cleaning time and laundry time at school.</p>			

	<p>(前ページからの続き)</p> <p>スペイン : I'm in Spain. I have math, Spanish and French on Monday in my school. I have a very long noon recess. It's about two hours. I go home and eat lunch.</p> <p>インド : I'm in India. I have science, math and English on Tuesday in my school. Science and math are very popular subjects in my country. I like Japanese <i>manga</i>, animation very much.</p> <p>フィンランド: I'm in Finland. I have P. E., Finnish and environmental education, <i>kankyokoiku</i> in Japanese in my school. I have a long summer vacation from June to August.</p>	<p>・単に答え合わせとにならないよう、聞き取った科目や曜日を題材に児童とやり取りをし、次の活動に繋げるようにする。</p>	
10分	<p>【Let's Play】 p.20</p> <p>・ペアで取り組む。1人が、1週間の時間割の中から好きな曜日を1つ決め、相手が What do you have? と尋ね、どの時間割を選んだかを考えて答える。</p>	<p>・前時に行った活動だが、必要に応じて例を示す。</p> <p>・ What do you have? I have ~. の表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親ませることがねらいである。</p> <p>◎教科や曜日について尋ねたり答えたりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	<p>児童用テキスト 教師用カード (教科, 曜日) 児童用カード (教科, 曜日)</p>
5分	<p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>・チャンツを言う</p>	<p>・まず、1度聞かせてから、言えるところから言うよう指示する。児童の実態により、スピードを選ぶとよい。児童と一緒に言う。</p>	デジタル教材
5分	<p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76)</p> <p>・黒板に掲示したアルファベット小文字を見て、ジングルのリズムに合わせて言う。</p> <p>・クラスを半分に分け、最初半分が <i>a/ei/</i> と言った後、あとの半分は <i>/æ/, /æ/, apple</i> とキーワードを言う。</p>	<p>・小文字に注目させアルファベットを全員で言う。</p> <p>・ Alphabet Jingle を聞かせ、小文字のアルファベットカード(その初頭音で始まる絵が描かれている)を示しながら、みんなで順番に言うように促す。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (小文字のアルファベットカード)</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 3-Lesson 4 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 4/7 時間

目 標 学校生活についてまとまった話を聞いてそのおおよその内容を捉えたり, 教科について尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 教師用カード (教科, 曜日), 児童用テキスト, デジタル教材, Alphabet Jingle シート, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。	
3分	【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22 ・チャンツを言う。	・児童の実態により, スピードを選ぶとよい。児童と一緒に言う。 What do you have on Monday? What do you have on Monday? I have math, I have P. E. I have science and music, too. Monday, Monday. Monday is fun! What do you have on Thursday? What do you have on Thursday? I have Japanese, I have English. I have social studies, too. Thursday, Thursday. Thursday is fun!	デジタル教材
8分	【Let's Watch and Think 2】 p.21 ・映像を見て, 世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか, わかったことを誌面に記入する。	・前時に視聴していない2つを選んで視聴する。視聴前に児童に予想させるなどし, 早く確認したいという気持ちにさせてから視聴するとよい。 ・1度目は一時停止せず, まとめて聞かせ, ある程度まとまりのある話から, その内容の概要を捉えられるように視聴の方法を工夫する。	デジタル教材 児童用テキスト
	ケニア : I'm in Kenya. I have math, English and Swahili on Monday in my school. We have eight classes from Monday to Friday and five classes on Saturday. We have cleaning time and laundry time at school. スペイン : I'm in Spain. I have math, Spanish and French on Monday in my school. I have a very long noon recess. It's about two hours. I go home and eat lunch. インド : I'm in India. I have science, math and English on Tuesday in my school. Science and math are very popular subjects in my country. I like Japanese <i>manga</i> , animation very much. フィンランド: I'm in Finland. I have P. E., Finnish and environmental education, <i>kankyokyoiku</i> in Japanese in my school. I have a long summer vacation from June to August.	・単に答え合わせとにならないよう, 聞き取った科目や曜日を題材に児童とやり取りをし, 次の活動につなげるようにする。 T : In India, on Tuesday they have ...? What is 'Finnish'? 'Finish'? No, no. Japan, Japanese. China, Chinese. Korea, Korean. France, French. Finland, ...? Do we have <i>kankyokyoiku</i> in our school?	
	・指導者の後に続けて分かったことを言い, 内容を確認する。 ・指導者の質問に答える。	◎学校生活に関するまとまった話を聞いておおよその内容を捉えている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
22分	【Activity 1】 p.22 ・指導者の夢の時間割を聞き, 誌面表に記入する。	・指導者自身の夢の時間割を, 簡単に理由も添えて伝える。	児童用テキスト 教師用カード (教科, 曜日)

	<p>T : It's Saturday. Ss: What do you have on Saturday? T : I have two music classes, home economics, arts and crafts, and long lunch time recess on Saturday. I like music. I want to play the piano. I like drawing pictures and sewing. (絵を描いたり, 縫い物をしたりするジェスチャーをしながら) I want to make an original bag.</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと夢の時間割を紹介し合う。 ・先生の夢の時間割を参考に, 夢の時間割を作成し, 紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の夢の時間割を参考に, 夢の時間割を考えるよう言う。児童の実態にもよるが, 簡単にでも理由も加えるよう指導する。 ・何曜日の時間割かを尋ねるところから始める。 	
	<p>S1: What day is it? S1: What do you have on Wednesday? S1: Oh! You have two P.E. classes. S1: Good!</p>	<p>S2: It's Wednesday? S2: I have two P.E. classes, English, music and a long lunch time. S2: Yes. I like basketball very much. I want to play basketball in NBA.</p>	
		<p>◎教科について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>○サークル・ジングル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで活動する。 <p>サークル・ジングルの進め方 (準備物: Alphabet Jingle シートでカードを作る。1グループに1シートを用意し, 児童に「アルファベット文字とイラスト」で1枚のカードになるよう切らせ, カードにする。) ・グループで Alphabet Jingle カード1セットを用意する。円になり, 各自が手持ちのカードからアルファベットの順に a /ei/, a /æ/, a /æ/, apple と言いながら出し, 協力して a から z まで言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内で行う。早く言うのが良いのではなく, 丁寧にきちんと発音しながら進めるよう促す。 	Alphabet Jingle シート
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 3-Lesson 5 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 5/7 時間

目 標 時間割やそれについての自分の考えなどの話を聞いてそのおおよその内容を捉える。

活字体の小文字を識別し、読むことができる。

準 備 家族の写真など (Small Talk 用), 教師用カード (教科, 曜日, 職業), 児童用カード (教科, 曜日, 大文字・小文字), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 3-2), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 OSmall Talk : 家族 <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 自分の家族 (娘息子兄弟姉妹やペット) について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	家族の写真など
<p>Small Talk の例</p> <p>T : Do you have any sisters or brothers? S1, you have a sister! <i>1nen-sei</i> ○○-<i>chan</i> is your sister. S2, you have a brother. <i>6 nen-sei</i> ○○-<i>kun</i> is your brother. Do you have any sisters or brothers? Ss : Yes. I have a brother (brothers). / I have a sister (sisters). T : (写真を手に児童に話しかける) Look! I have three sisters. This is my elder sister, Keiko. She is nice. She is a very strong woman. This is my younger sister, Kyoko. She is a nursery school teacher, <i>hoikushi</i> in Japanese. She is very gentle and kind. (笑いながら) Who is this beautiful woman? Ss : No, no! Not beautiful! / <i>Sensei!</i>? T : Is that right? ... No, this is not me. This is my twin sister! <i>Futago</i> in Japanese. We are good sisters.</p>			
3分	【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22 <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態により、スピードを選ぶとよい。 	デジタル教材 教師用カード (教科, 曜日)
<p>What do you have on Monday? What do you have on Monday? I have math, I have P. E. I have science and music, too. Monday, Monday. Monday is fun! What do you have on Thursday? What do you have on Thursday? I have Japanese, I have English. I have social studies, too. Thursday, Thursday. Thursday is fun!</p>			
8分	OGo fish Game <ul style="list-style-type: none"> グループで Go fish Game を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 数名の児童とデモンストレーションとして、進め方を理解させる。 	児童用カード (教科, 曜日)
<p>Go fish Game の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> グループに4セット教科と1セット曜日のカードを準備する。教科カードをシャッフルし、裏向けにして1人5枚ずつ配る。残りの教科カードは裏向けの山、曜日カードは表向けの山にして机の中央に置く。曜日カードは1周する度に次の曜日にかえる。手持ちで揃っているカードは横に出す。残りの手持ちの教科カードを早く2枚組にしていき、全てなくなった人が勝ちというゲーム。 じゃんけんをして右回りを決める (S1→S2→S3→S4)。 <p>S1 (手持ちのカードが P.E., English, music, Japanese, math) →S2 に Do you have P.E. on Wednesday? S2 (P.E.カードを持っている場合) Yes, I do. I have P.E. on Wednesday. と言ってカードを S1 に渡す。S1 は揃うので P.E.カードを横に出すことができる。 S1 (P.E.カードを持っていない場合) No, I don't. I don't have P.E. on Wednesday. Go fish! と言う。S1 は教科カードの山から1枚取る。S2→S3 で続ける。終了時に手持ちカードの少ない人が勝ち。</p>			

8分	<p>【Let's Watch and Think 3】 p.23</p> <p>・映像を視聴し、登場人物と将来の夢、オリジナル時間割を線で結ぶ。</p>	<p>・登場人物が、将来の夢を紹介している場面であることを伝える。</p> <p>・視聴する前に、どの職業にどの時間割が合っているかを予想させることで、視聴への意欲につなげる。</p> <p>・まとまりのある話を聞いて概要を捉えることがねらいである。そのため、まずは全ての映像を区切らずに順に全て視聴させる。その後、1人ずつ区切って視聴するとよい。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (曜日, 教科, 職業)</p>
<p>こうせい: Hello. My name is Kosei. I want to be a vet. This is my Dream Schedule. I like science and math. I have two science classes. I want to know how to use computers, so I have a computer class, too.</p> <p>さき : Hi, I'm Saki. I like my homeroom teacher, Ms. Tanaka. I want to be an elementary school teacher. Teachers teach many subjects at school. I want to study math, Japanese, English, music, and arts and crafts.</p> <p>けんた : Hello. I'm Kenta. I like sports. I like baseball very much. I want to be a baseball player. I have two P.E. classes. I want to do a lot of exercises. I want to study English, too. I want to be a Major League player.</p> <p>あおい : Hi, I'm Aoi. I want to help people in the future. I want to be a fire fighter. I have two P.E. classes. I have social studies, too. That's my Dream Schedule.</p>			
		<p>・答えを確認した後、これらのスピーチ内容を参考に、この後オリジナル教科を含めた時間割を作ることを伝える。</p> <p>◎時間割やそれについての自分の考えなどの話を聞いてそのおおよその内容を捉え、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
13分	<p>【Activity 2】 p.24</p> <p>・ある職業に就くための時間割を考え、オリジナル時間割も含めて完成させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>時間割の紹介例 (florist になりたい人のための時間割)</p> <p>T : This is a schedule for a florist. Let's guess.</p> <p>S1: Do you have arts and crafts?</p> <p>T : Yes, I do. I have arts and crafts. I want to make a beautiful bouquet.</p> <p>S2: Do you have home economics?</p> <p>T : No, I don't. I don't have home economics.</p> <p>S3: Do you have math?</p> <p>T : Yes, I do. I have math.</p> <p>How many flowers? How much the flowers?</p> <p>I have math.</p> <p>I have arts and crafts, English, math and social studies.</p> <p>English is for foreign guests. I have social studies for delivery.</p> <p>My original subject is '嗅覚トレーニング' class. '嗅覚' is very important for a florist.</p> <p>Thank you.</p> </div>	<p>・まず、指導者が自分の作成したオリジナル時間割を紹介し、どんなものを作成すればよいのか、また、オリジナル教科とはどんなものが考えられるのか例を示す。</p> <p>・6つの職業に就く人のための時間割や、新しいオリジナル教科を話し合う時間を取ることも考えられる。</p> <p>・単に好きな教科を選ぶのではなく、なぜその教科を選ぶのかという理由を付け加えさせるとよい。</p> <p>・職業については、児童自身が6つから選んで決める</p>	<p>児童用テキスト ワークシート (Unit 3-2) 教師用カード (曜日, 教科, 職業)</p>

		か、職業カードを引いて決めるか、班でバラバラになるように話し合いで決めるなど、学級の実態に合わせて決めるとよい。ただし最後のクイズで偏りが出ないように配慮する。	
5分	<p>○ペアを探せ！ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに大文字と小文字をマッチさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進め方の例を示す。 ・理解の進んでいる児童のみが1人がゲームをリードしないよう、児童の実態に合わせてルールを決めて行う。例えば、各自に同枚数配布する、右回りで1人ずつペアを作っていくなどが考えられる。 ・単に大文字と小文字をペアにするだけでなく、識別してペアにした文字を読むことがねらいである。そのため、ペアにした後必ず声に出して読むことを徹底する。 <p>◎活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読んでいる。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	<p>児童用カード (大文字・小文字:グループに1セット)</p>
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

	<p>(前ページの続き)</p> <p>D : Uh-huh! (2人で相談をして本人のものと思う時間割を2人の前に置く。)</p> <p>This is your original schedule and this is your original schedule.</p> <p>A : That's right! I have English, too. I want to play in the World Cup.</p> <p>B : I have science, English, and math. I like English. I want to teach English.</p> <p>A : My original “教科” is “サインの練習”. Do you want my sign?</p> <p>CD : Yes, please.</p> <p>B : My original “教科” is “遊びの時間”. Students like “遊びの時間” very much.</p> <p>I want to play with my students.</p> <p>CD : Nice schedule!!</p> <p>AB : Thank you.</p>	<p>◎時間割について尋ねたり答えたりして、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・ 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 3—Lesson 7 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 7/7 時間

目 標 他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合おうとする。

準 備 児童用テキスト、児童用カード(教科、曜日、職業、大文字・小文字)、ワークシート (Unit 3-2 : 前時に作成した時間割)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
3分	【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22 ・チャンツを言う。	・児童の実態により、スピードやオプションを選ぶとよい。児童と一緒に言う。 What do you have on Monday? What do you have on Monday? I have math, I have P. E. I have science and music, too. Monday, Monday. Monday is fun! What do you have on Thursday? What do you have on Thursday? I have Japanese, I have English. I have social studies, too. Thursday, Thursday. Thursday is fun!	デジタル教材
25分	【Activity 2】 p.24 ・作成したオリジナル時間割をクイズ形式で紹介する。 ・オリジナル教科についても紹介する。	・進め方の例を示す。 ・日本語は使わない、クイズの際に大切にしたいことなどを児童の発表により確認する。 (例)反応を示す、しっかり聞いて答えるなど。	ワークシート (Unit 3-2: 前時に作成した時間割) 児童用カード
学級の班の内半分を、クイズを出す方の班 (ABCD)、半分をクイズに答える方の班 (EFGH) とする。 ① A-E B-F C-G D-H ②A-F B-G C-H D-E・・・ と時間いっぱいまで回していく。 A1234: (各自の前に職業カードと、誰の時間割か分からないようにして時間割を置く。) A1: (サッカー選手) 2: (教師) 3: (花屋) 4: (警察官) E1: Do you have P.E.? A1: Yes, I do. I have P.E. I like P.E. A2: Yes, I do. I like P.E. very much. A3: No, I don't. I don't have P.E. A4: Yes, I do. I have P.E. E2: Do you have music? A1: Yes, I do. I have music. I want to dance. A2: Yes, I do. I want to sing. A3: Yes, I do. I have music. A4: No, I don't. I don't have music. 同様に E3, E4 が質問をしたことに A1, 2, 3, 4 が答える。班員全ての質問と答えが終わったら、質問をする方の班は、相談をして誰の時間割が誰のものか正しい場所に置く。答える側の班は、正解かどうかを教える。 その後 A1, 2, 3, 4 は順に自分のオリジナル教科を紹介する。 A1: My original “時間割” is “サインの練習”. Do you want my “サイン”? CD: Yes, please. A2: My original “時間割” is “遊びの時間”. I like playing outside very much. I want to play with students. A3: A4:・・・ E1, 2, 3, 4 はそれぞれのオリジナル教科に感想を伝える。 ・前半の活動後、やり取りの良かった班がデモンストレーションをし、どんな点がよいのかを全体で交流し、後半の活動に生かせるようにする。後半の活動を、クイズを出す方と答える方の役割を交代して行う。 ・工夫のあるオリジナル教科の時間割を考えた児童が、自薦他薦で時間割を発表したりすることも考えられる。			
		◎他者に配慮しながら、教科について尋ねたり答えたりして、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	

5分	<p>OI spy ゲーム</p> <p>・ペアになり，1人がアルファベットの文字の名称を言い，もう1人が Alphabet Jingle チャートあるいは，児童用カード（大文字・小文字）にあるその文字をさし示す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S1: b /bi/ S2: Here! (bを指さす) S1: OK!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで，児童用テキスト p.22 (p.76)の Alphabet Jingle チャートあるいは，児童用カード（文字・小文字:切り離さない状態でも切り離れた状態でもよい）を使って活動することを告げる。 ・最初に，指導者と児童でデモンストレーションをして進め方を理解させ，ペアで取り組ませる。 	児童用テキスト 児童用カード (大文字・小文字)
5分	<p>【STORY TIME】 p.25</p> <p>・絵本の読み聞かせを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>マリア : Hello. かず : It's Monday today. Our first class is Japanese. マリア : Can you teach me Japanese? かず : Sure!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を読み聞かせる際には，一方的に絵本の台詞を読むのではなく，児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで，絵本の筋についての理解を助けるとともに，児童を絵本の世界に引き込むことができる。 ・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は，やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり，自分で読むことに挑戦したりすることを想定し，短く単純なものにしている。よって，指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い，児童の想像を膨らませるようにすることが大切である。 ・指導者は，ジェスチャーを付け，表情豊かに読む。これらも児童にとっては，物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び単元全体を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード